

2016年度「PR アワードグランプリ」にて、「シルバー」を受賞

びばでん
『美婆伝』90歳を越えても美しく働き続ける11人の物語
～ポーラ、ビューティーディレクターの仕事への「誇り」「やりがい」を醸成する取組み～

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:鈴木郷史)は、2016年度「PR アワードグランプリ」において、「シルバー」を受賞しました。当社としては、初めての受賞となります。

びばでん
『美婆伝』(発行:講談社/著者:土本真紀)の書籍化をきっかけに、ポーラのビューティーディレクターの仕事への「誇り」や「やりがい」を醸成する取組みが、組織内へのビジョン浸透、価値観共有、行動喚起、内部コミュニケーション活性化などを評価する「インターナル・コミュニケーション部門」において、唯一グランプリ候補9作品に選出され、12月7日の最終選考会を経て、「シルバー」に選出されました。



「PR アワードグランプリ」とは

パブリックリレーションズの活動事例について広く募集し、審査を通じて優秀な活動を表彰・公開することを通じ、パブリックリレーションズの質向上に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進をはかることを目的に、公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会が主催するものです。

2016年度「PR アワードグランプリ」は、「コーポレート・コミュニケーション部門」「マーケティング・コミュニケーション部門」「ソーシャル・コミュニケーション部門」「インターナル・コミュニケーション部門」「研究・開発部門」の5つの応募部門があり、過去最高となる107件のエントリー。ブロンズ10社の決定とともに、最終選考会に9候補が選出。12月7日に最終プレゼンテーションが行なわれ、グランプリ1社/ゴールド4社/シルバー4社の各賞が決定し、表彰式が行なわれました。

ポーラ、ビューティーディレクターの仕事への「誇り」「やりがい」を醸成する取組み

5つの応募部門のうち、ポーラの【ビューティーディレクターの仕事への「誇り」「やりがい」を醸成する取組み】について、「インターナル・コミュニケーション部門」にエントリーしました。

【概要】ポーラのビューティーディレクター(2016年ポーラレディから呼称を変更。以下、BD)は、ポーラと契約を結ぶ個人事業主である。定年は無く、10代後半～100歳まで、約5万名が登録している。2005年より、訪問販売からエステ併設型ショップへとビジネスモデルを転換し、20代～40代のBDが半数を占める。一方、80代で2,000名、90代で200名のベテランBDが存在する。90歳を越えても現役で活躍するベテランBDの物語『美婆伝』の書籍化をきっかけに、ポーラで働く全てのBDが、「働く意味」「お客さまへの想い」を学び、仕事への「誇り」や「やりがい」を醸成する取組を継続している。

【本件に関するお問い合わせ先】

(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543